

コース共通 (C)

見本

コープぎふ福祉活動助成金申請書類チェック表（2024年度版）

◆申請書類に不備や不足がないよう、□にシ点をつけてチェックをしましょう。

<記載方法について>

- ① ☐ 【全体】鉛筆や消えるインクで記入をしていませんか。
- ② ☐ 【全体】間違えたところや書き損じたところに訂正印を押されていますか。

<助成申請書について>

- ◆2024年度版の様式になっていますか。
- ◆全部で4種類、合計6枚です。
- ◆所定の書類に各必要事項が記入されていますか。
 - ① ☐ 【団体概要①】◎押印されていますか。
 - ② ☐ 【団体概要②】
 - ③ ☐ 【事業計画書①】
 - ④ ☐ 【事業計画書②】
 - ⑤ ☐ 【事業予算書】
 - ⑥ ☐ 【事業計画自己アピール】

<団体準備書類について>

- ◆以下の書類を用意できましたか。
 - ⑦ ☐ 定款・会則もしくはそれに順ずる文書
 - ⑧ ☐ 総会等の議案書（直近開催のもの）
 - ⑨ ☐ 昨年度の決算書
 - ⑩ ☐ 今年度の予算書
 - ⑪ ☐ 申請事業に関わる見積書 ◎A・Bコース、要2社以上相見積もり必須。

★申請に必要な上記の書類に、不備、不足がある場合は受理できません。

提出前に必ずご確認ください。

また、お問合せさせていただく場合がありますので、必ず控えをお持ちください。

◆鉛筆や消えるインクは使用しないでください。

整号番号	2024-
受付月日	

第19期（2024年度分）コープぎふ福祉活動助成金助成申請書

以下のとおり「福祉活動助成金」を申し込みます。

なお、本申請書類及び添付資料に記載されている事項は、助成金の支給対象の選考等、当基金の運営に必要な範囲で取得利用すること、また、給付が決定した場合には、団体名、個人名、活動内容等の情報が一般に公開されることに同意の上、応募します。

申請日：2023年 11月 10日

団体名 (法人格も記載)	ふりがな とくていひえいりかつどうほうじん みんなでにこにこかい				
	特定非営利活動法人 みんなでニコニコ会				
代表者 (役職・氏名)	ふりがな だいひょう せいきょう たろう				
	(役職) 代表	(氏名) 生協 太郎			
団体の所在地 (個人宅の場合は氏名も明記)	〒504-0917 岐阜県各務原市鵜沼各務原町 1-4-1				
	電話	058-370-6873	FAX	058-370-6860	
	e-mail	s.eikyominna@sumairu.jp			
	HPアドレス				
団体設立年月日	2010 年 3 月 21 日 (法人の場合は登記の日)				
人員構成	役員数 5 人 職員 6 人 会員数 17 人				
連絡担当者 (日中連絡可能な先)	ふりがな じむきょく せいきょう はなこ				
	(役職) 事務局	(氏名) 生協 花子			
	電話	058-370-6873			
	携帯電話	060-1123-4566			
	e-mail	s.eikyominna@sumairu.jp			
資料送付先 (個人宅の場合は氏名も明記)	〒504-0197 岐阜県各務原市鵜沼各務原町 1-4-1				

コープぎふ福祉活動助成金助成申請書【団体概要②】2024

団体の活動目的	発達障がいや自閉症など障がいのある方が地域社会と繋がることができる場の提供や個性を生かした就労の手助け、生活の支援、余暇の充実に向けた提案をします。生き生きと豊かに地域で暮らせるように支援活動することを目的とします。		
団体の活動状況 (できるだけ具体的に紹介して下さい。)	2008 年から支援者の余暇が広がるようにと音楽会への参加や映画館を貸し切ったの上映会を開催してきました。現在も年に2～3回ほど映画館を貸し切って、自由に鑑賞できるような環境で上映会を開催しています。 また、それとは別に 2010 年には就労継続支援事業所「ニコニコハッピー」を設立。17 名それぞれの体調やペースをみながら作業に取り組んでいます。作業内容は個人毎に合わせて、できることから始めました。 その後、からあげ屋さんと契約をして本格的にからあげを作って販売しています。 また、仕事だけでなく、充実した休日が過ごせるように余暇活動も設け、公認心理士の方と一緒にゲームや散歩をしていろいろな活動に取り組んでいます。		
参加生協組合員	氏名	団体での役職	生協組合員番号
	各務原 次郎	事務局	0533219
	野原 玉音	会計	1158974

コープぎふ福祉活動助成金助成申請書【事業計画書①】2024

団体名	特定非営利活動法人 みんなでニコニコ会		
事業名 具体的な内容で記入	障がいがある方が「社会とつながり生き生きと豊かに地域で暮らす」ための勉強会開催事業		
助成区分 (該当項に○)		A コース (上限 100 万円)	施設・建物整備事業
		B コース (上限 20 万円)	建物・機器・備品整備事業
	○	C コース (上限 10 万円)	調査研究、交流集会、研究会等事業
助成申請額	(A) 70,000 円	事業費総額	(B) 75,000 円
事業（活動） の要約	(100 文字以内でお願いします) 発達障がいや自閉症など障がいのある方が地域社会の場で生活の充実をはかるための方法を先輩や講師の方から学びます。		
実施時期	2024 年 7 月 20 日 ～ 2024 年 9 月 30 日		
現状評価(背景)	(申請事業の背景となる社会的な課題やニーズなど。解決したいことなど) 障がい者の日中活動や就労支援の事業を行う中、障がいを持ちながら地域で生活をしていくことは不安も多く、困ったときにどうしたらよいかわからない場面が多々ある。		
事業（活動） の目的	(当該事業の実施によって目指す、社会的状況や状態など) 現在就労している先輩の話や具体的な生活設計をイメージし、不安が軽減できることを目的に勉強会を開催します。		

コープぎふ福祉活動助成金助成申請書【事業計画書②】2024

事業（活動）を実施するためにどのような計画を立てられましたか。具体的に ご記入ください [予算書は別途添付]	（事業の内容、対象、参加人数、場所、日程など具体的に記載してください） スケジュール 日程：2024 年 7 月～9 月のいずれかを予定。講師の方と調整します。 対象：障がい者および家族、支援者等（一般も含む） 募集人数：30 名 講師：障がいを持ちながらも就労され、活動をされている先輩と 〇〇〇相談センター △△△ △△△ 様 内容：障がいを持ちながら地域で生活していくためのコツやアドバイスを 交えて、将来の具体的な設計や準備についてお話をさせていただきます。 会場：大里文化センター 小会議室
■新型コロナウイルス感染拡大時には、この事業についてどのように対応するとお考えですか。（延期・中止・その他） 7 月～9 月を予定していますが、新型コロナウイルス感染拡大時には、講師の方と相談をして、日程が取れる場合は延期にします。都合がつかない場合は、他の講師の方に依頼をする予定だが、都合がつかない場合は中止とする。	
事業（活動）の 効果	（事業を実施することで期待される成果・効果を具体的に記入してください。） 先輩や講師の方の話を聞くことで、自分がどのように考えて、将来どのような生活を目指すのか等を具体的に設計ができたり、それに向けての準備ができるようになる。 そのようなことができれば、今後に向けての負担や不安が軽減され、安定した生活を送ることができる。
協力機関・団体	

団体名 特定非営利活動法人 みんなでニコニコ会

1. 収入の部

項目	予算金額(円)	内訳
(1)コープぎふ助成金	(A) 70,000	【事業計画書】の助成申請額(A)と一致すること
(2)他の助成金		
(3)本事業の収入		
(4)その他収入		
(5)自己資金	5,000	
収入合計	(B) 75,000	【事業計画書】の事業費総額(B)と一致すること

2. 支出の部

項目	予算金額(円)	内訳
(1)-1建物施設改修工事費		
(1)-2物品資材購入費		
(2)外部講師謝金	17,000	講師2名分
(3)外部ボランティア謝金		
(4)業務委託費		
(5)印刷製本費	25,000	勉強会開催案内チラシ作成費
(6)旅費交通費	8,000	講師2名分交通費
(7)通信費	3,000	講師へ案内状、資料等送料
(8)事務消耗品費	5,000	資料用紙代
(9)賃借・施設使用料	7,000	大里文化センター 小会議室
(10)雑費その他	5,000	消毒・除菌シート・体温計・ペーパータオル
その他	5,000	お茶・お菓子
* 人件費		助成対象外です
* 保険料		助成対象外です
支出合計	(B) 75,000	【事業計画書】の事業費総額(B)と一致すること

コープぎふ福祉活動助成金助成申請書【事業計画自己アピール】2024

◎審査の重要なポイントとなります。箇条書きで記入してください。

団体名	特定非営利活動法人 みんなでニコニコ会
必要性 緊急性	■必要性：ないと困る、または、実施しなければいけない事業かどうか。 緊急性：今年度中に実施しなければいけない事業かどうか。 ・将来の生活に不安を抱えているが、相談をしたり教えてもらう環境が少ない。 ・精神的負担が増大しており、できるだけ早くから将来設計をたてる準備がいる。
実現可能性 効果性	■実現可能性：今年度中に実現が可能な事業かどうか。 効果性：長期に渡り高い効果をあげることができる事業かどうか。 ・勉強会については、すでに講師の〇〇先生に承諾を得て日程を調整中。 ・講師の先生からのメッセージを聞いたり、勉強会に参加したことで悩みや問題の解決方法を自ら見出すことができる。
発展可能性 継続性	■発展可能性：事業により将来的に勢いや進展の可能性が見込めるかどうか。 継続性：事業により行為や状態が途切れずに続き、継承できるかどうか。 ・勉強会に参加した人たちに将来の生活を考えるきっかけづくりとして情報を提供する。 ・様々な方の話を聞くことで多様な生活方法を考えることができ、自分にあった方法を見出す。
費用の妥当性	■費用の妥当性：判断や認識の上で価値があり、実情にあった事業として適切かどうか。 ・講師料は、〇〇先生のこれまでの講演での金額を参考にしました。会場は収容人数に合わせて選びました。チラシ製作費もいくつかの会社で見積りを取って、一番安価な会社で作成することになります。

コープぎふ福祉活動助成金【事業報告書①】2024

生活協同組合コープぎふ
理事長 大坪 光樹 殿

2024 年 9 月 10 日

(団体名) 特定非営利活動法人 みんなでニコニコ会

(代表者名) 生協 太郎 印

(住所) 岐阜県各務原市鵜沼各務原町1-4-1

(電話番号) 058-370-6873

福祉活動助成基金の2024年度助成により取り組んだ事業の実績について、次のとおり報告します。

1、助成事業名 障がいのある方が社会とつながり地域で暮らすための勉強会開催事業

2、実 施 日 2024 年 8 月 30 日

※ 事業実施期間 2024年4月1日～2025年3月31日

1. 事業の内容

お申し込みを40名以上の方からいただきましたが、会場には30名しか

入ることができないため、抽選としました。また、当日は雨にもかかわらず、

全員の方がご参加されました。初めに、今回の勉強会開催にあたり、当日の

スケジュールとお話をさせていただく先輩と講師の〇〇先生のプロフィールを紹介

した後、障がいを持ちながら地域で生活をしていくためのコツやアドバイスを交

えて、将来の具体的な設計や準備についてお二人にお話をさせていただきました。

2. 事業の効果

将来の生活に不安を抱えている障がい者とその家族に対して、経験者である

先輩からの具体的な体験と講師によるアドバイスや情報提供を基に将来の

イメージができることで、どのような設計を立てることができるか、どの

ような準備をすればよいのかが明確になり、行動に移しやすくなる。

具体的な計画ができることで、精神的な安定が日常生活に現れているようです。

今回の助成で実施した事業(活動)の様子や購入した備品等の写真及び領収書(コピー)を添付してください。

条件がある方は写真をデータで送って頂けると幸いです(Email:takuji.nakano@tcoop.or.jp)。

団体名 特定非営利活動法人 みんなでニコニコ会

1. 収入の部

項目	予算金額(円)	全体決算金額(円)	備考
(1)コープぎふ助成金	(A) 70,000	(D) 67,300	
(2)他の助成金			
(3)本事業の収入			
(4)その他の収入			
(5)自己資金	5,000	5,000	
収入合計(円)	(B) 75,000	(C) 72,300	

2. 支出の部

項目	予算金額(円)	全体決算金額(円)	コープぎふ助成対象金額(円)	備考
(1)-1建物施設改修工事費				
(1)-2資材・物品購入費				
(2)外部講師謝金	17,000	17,000	17,000	講師料(2名分)
(3)外部ボランティア謝金				
(4)業務委託費				
(5)印刷製本費(外注)	25,000	25,000	25,000	勉強会開催案内チラシ作成費
(6)旅費または交通費	8,000	8,000	8,000	講師交通費(2名分)
(7)通信費(郵送料等)	3,000	1,800	1,800	講師へ資料等の送料
(8)事務消耗品費	5,000	5,000	5,000	資料用紙
(9)賃借・施設使用料	7,000	7,000	7,000	大里文化センター使用料
(10)雑費・他消耗品費等	5,000	3,500	3,500	消毒・除菌シート・ペーパータオル
	5,000	5,000		お茶・お菓子 ※飲食は助成対象外のため
* 人件費				助成対象外です
* 保険料				助成対象外です
支出合計(円)	(B) 75,000	(C) 72,300	(D) 67,300	

コープぎふ助成金の収支	収入(A)生協助成金	支出(D)支出合計			差額(返金)	
	70,000	円	—	67,300	円	= 2,700 円